

研究実施のお知らせ

2025 年 7 月 25 日 ver.1.0

研究課題名

切除不能進行再発胃癌において免疫チェックポイント阻害剤を含む化学療法を施行した患者の背景因子と治療効果の関係の研究

研究の対象となる方

2015 年 1 月から 2025 年 9 月の間に島根大学医学部附属病院で切除不能進行再発胃癌と診断され、化学療法の治療を受けられた方

研究の目的・意義

本研究は、当科で施行した免疫チェックポイント阻害剤を含んだ抗癌剤治療を受けた切除不能進行・再発胃癌患者において、患者背景因子と治療効果（増悪の有無、生死の有無）を明らかにし、従来の化学療法と比較検討することを目的とします。本研究の意義は、免疫チェックポイント阻害剤を含む治療の有用性や適応患者の選択に関する実臨床に即した知見を蓄積することにあります。これにより、今後のより適切な治療戦略の構築や個別化治療の推進に貢献することが期待されます。

研究の方法

島根大学医学部附属病院で保管されている診療録から、次の手順でデータを収集する。

- 1) 胃癌に対する治療時年齢
- 2) 性別
- 3) 治療経過中の血液、画像検査所見
- 4) 治療経過中の有害事象
- 5) 治療の効果判定
- 6) 治療コース数
- 7) 増悪の有無
- 8) 生死の有無

収集したデータより、患者背景因子と治療効果について過去の文献等を踏まえ検討を行う。

研究責任者は収集した情報を島根大学医学部消化器・総合外科講座内の保管庫にてセキュリティを設定し、パスワードの使用可能な研究者を制限した条件下で保管する。研究対象者の識別は研究用の識別番号により行い、その研究対象者リストは収集データとは別に、施錠可能な場所で研究責任者が適切に保管する。外部への持ち出しは行わない。データ測定後は島根大学の規則に従い研究対象者の識別が不可能な状態で消去する。

研究の期間

2025 年 10 月 6 日～2026 年 12 月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部消化器・総合外科学講座 松原毅

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2026 年 3 月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部消化器・総合外科学講座 松原毅

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1
電話 0853-20-2232